2023 (令和5) 事業年度

決 算 報 告 書

自:2023(令和5)年4月 1日

至:2024(令和6)年3月31日

国立大学法人横浜国立大学

令和5年度 決算報告書

国立大学法人横浜国立大学

(単位:百万円)

			(十匹・口	/ 1 4 /
区分	予算額	決算額	差 額 (決算 - 予算)	備考
収入 運営費交付金 施設整備費補助金 補助金等収入 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金 自己収入 授業料、入学料及び検定料収入 雑収入 産学連携等研究収入及び寄附金収入等 引当金取崩 目的積立金取崩 計	8,191 504 31 - 5,719 5,644 75 2,841 - 685 17,973	8,276 502 370 - 5,652 5,400 251 5,241 0 104 20,149	85 △ 1 339 - △ 67 △ 243 176 2,400 0 △ 580 2,175	注注 注注 注注注注注 注注注注注
支出 業務費 教育研究経費 施設整備費 補助金等 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等 計	14,596 14,596 504 31 2,841 17,973	13,497 13,497 502 177 4,370 18,547	\triangle 1,098 \triangle 1,098 \triangle 1 145 1,528 573	注 9 注 10 注 11

○予算と決算の差異について

- (注1) 令和5年度年俸制導入促進費の追加配分による特殊要因運営費交付金7百万円の増、予算段階で予定していなかった教育・研究基盤維持経費の配分による特殊要因運営費交付金77百万円の増、前年度特殊要因退職手当繰越額に係る予算と実際の繰越金額の差異による13百万円の減、予算段階で予定していなかった学術情報流通活性化分の配分による基幹運営費交付金9百万円の増、予算段階で予定していなかった附属学校機能強化分の配分による基幹運営費交付金0百万円の増、令和5年度授業料等免除追加交付分による基幹運営費交付金2百万円の増により、予算額に比して決算額は85百万円多額となっております。
- (注2) 予算段階で予定していた予算額の変更による 51 百万円の減、令和 5 年度当初 予算採択事業による 49 百万円の増により、予算額と比して決算額が 1 百万円 少額となっております。
- (注3) 予算段階では予定していなかった資金の獲得に努めたことによる 352 百万円の増、当期未収入金分 12 百万円の減の理由により、予算額と比して決算額は 339 百万円多額となっております。また、補助金等収入には、授業料等減免費 交付金が 169 百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。

- (注4) 授業料収入 160 百万円の減、入学料収入 116 百万円の減、検定料収入 33 百万円の増により、予算額に比して決算額は 243 百万円少額となっております。
- (注5) 財産貸付料収入等により、予算額に比して決算額は 176 百万円多額となって おります。
- (注6) 寄附金収入 16 百万円の減、受託研究収入 1,411 百万円の増、共同研究収入 97 百万円の増、受託・共同事業収入 25 百万円の減。一方、前年度以前の収入を財源として、寄附金収入 1 百万円の増、受託研究収入 517 百万円の増、共同研究収入 151 百万円の増、受託・共同事業収入 4 百万円の増、科学研究費補助金等間接経費収入 258 百万円の増となり、予算額に比して決算額は合計 2,400 百万円多額となっております。
- (注7)退職手当引当金及び賞与引当金により、予算額に比して決算額が 0 百万円多額 となっております。
- (注8) 令和 5 年度当初予算の翌年度以降への繰越のため、予算額に比して決算額は 580 百万円少額となっております。また、目的積立金取崩には、授業料免除実 施経費が2百万円含まれております。
- (注9) (注1)及び、(注4)、(注5)に記した理由等により、予算額に比して決算額が1,098百万円少額となっております。
- (注10) (注2) に示した理由等により、予算額に比して決算額は1百万円少額となっております。
- (注11) (注3) に示した理由等により、予算額に比して決算額は 145 百万円多額と なっております。
- (注12) (注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額は1,528百万円多額となっております。